

行政

Administration

桂川町長
井上 利一



新年 明けましておめでとうございます。

皆様には、お元気で輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、桂川町の町づくりにご理解とご尽力を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

顧みますと、昨年は北京オリンピック、米国の大統領選挙、食の安全を脅かす事件、麻生内閣の誕生、世界的金融危機の発生等々、さまざまなことがありました。

本町では、嘉穂総合高校の移転開設をはじめ、株式会社竜製作所との立地協定、桂川東小学校の創立五十周年記念式典等があり、また、社会福祉協議会では横領事件の結審、筑豊勢では飯塚高校の甲子園初出場が記憶に残るところです。

現在、国では国民の生活対策や経済立て直しのための景気対策、地方重視の政策転換等が言われています。その効果を期待しながら、注視していく必要があります。

本町の現状は、財政運営上、依然として厳しいものがありますが、大切なことはその厳しさを認識した上で、いかに元気な町づくりを創生していくかということであり、元気な町づくりを推進する原動力は、住民の皆様との協働の精神であり、将来的な展望であると思えます。

私は、桂川町の将来像は、福祉、教育、コミュニティが充実し、しっかりとした生活基盤のもとで、子どもたちの将来に希望が持てる町だと考えています。そのために何を為すべきか、何を改革し何を創生すべきか、たくさんの課題がありますが、皆様との対話を重視し、信じる力を大切にして、一步を確実に進んで行きたいと考えています。

今年の干支は「丑」です。高村光太郎の「牛」という詩の中に、『牛は急ぐことをしない／牛は力いっぱい地面に頼っていく／自分を載せている自然の力を信じきっていく』とあります。

本年が、皆様にとりまして健康で幸多い年でありますことを祈念申し上げますとともに、住みよい町の実現に向けて、更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。